

## 教科目名 応用測量学 (Applied Surveying)

学科名・学年 : 都市・環境工学科 4年 (教育プログラム 第1学年 ◎科目)

単位数など : 必修 1単位 (前期1コマ, 授業時間 23.25時間)

担当教員 : 工藤宗治

授業の概要			
基本的な測量については、低学年において、講義や実習を通じてすでに学んでいる。この科目では、応用的な内容である「地形測量」、「路線測量」、「写真測量」について説明し、「道路」、「地域・地形」との関連や認識を深める。また、「GPS測量」などの最新の測量技術についても基礎知識を教授する。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(B2), JABEE目標(2.1①)(g)	
(1) 「地形測量」の原理と内容そして利用法について、理解と習熟を深め、計算と判読ができる。(定期試験, 課題)			
(2) 「路線測量」について、各種の課題に取り組み、内容の理解と各種曲線の設置計算ができる。(定期試験, 課題)			
(3) 「写真測量」の原理と内容そして利用法について、理解と習熟を深め、計算と判読ができる。(定期試験, 課題)			
(4) 「GPS測量」の原理について理解し、測量結果から基礎的な計算ができる。(定期試験)			
(5) 誤差論の考え方を基にして計算ができる。(定期試験)			
(6) 全体について「測量士補試験」の水準を目標とし、出題例を解答できる。(定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	地形測量①	○地形図を説明できる。	【理解の度合い】
2	地形測量②	○地形測量の方法を説明できる。	
3	地形測量③	○等高線の性質とその利用を説明できる。	
4	路線測量①	○単心曲線の設置を説明でき、測量結果から計算できる。 ○緩和曲線や縦断曲線の測設を説明でき、測量結果から計算できる。	
5	路線測量②		
6	路線測量③		
7	路線測量④		
8	路線測量⑤		
9	前期中間試験		【試験の点数】 点
10	前期中間試験の解答と解説	わからなかった部分を理解する。	【理解の度合い】
11	写真測量①	○写真測量の原理や方法を説明できる。	
12	写真測量②	○比高の測定を説明でき、測量結果から計算できる。	
13	GPS測量	○GPSの原理を説明できる。 ○GPS測量の方法を説明でき、測量結果から計算できる。	
14	誤差論	○測量における誤差の扱い方を説明できる。 ○最小二乗法の原理を説明でき、これを考慮した計算ができる。	
15	前期末試験		【試験の点数】 点
	前期末試験の解答と解説	わからなかった部分を理解する。	
履修上の注意	講義は最小限に止め、課題や演習を中心に進めていく。なお、国家資格「測量士補」を申請取得するには、本科目の修得が必要である。		【総合達成度】
教科書	岡林 巧他, 「測量学Ⅱ」, コロナ社		
参考図書	測量士・測量士補国家試験受験テキスト, 日本測量協会		
自学上の注意	ノート作りを工夫し、自ら教科書や参考書等を用いて課題を回答し、提出すること。		
関連科目	測量学, 道路交通工学, 実験実習Ⅱ, 応用測量実習		
総合評価	達成目標の(1)~(6)について、2回の定期試験と課題で評価する。 総合評価 = (2回の定期試験の平均) × 0.8 + (課題の評価) × 0.2 総合評価が60点以上を合格とする。 再試験は、総合評価が60点に満たない者に対して実施する。 なお、再試験の受験資格は、総合評価が40点を越え、且つ全ての課題を期限内に提出した者に与える。		【総合評価】 点